

# 中学校・第2学年・保健体育科（保健分野）・傷害の防止①

熊本市提供

## 育成を目指す資質・能力

- ・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因、交通事故などによる傷害の防止、自然災害による傷害の防止、応急手当の意義と具体的な方法について理解するとともに、心肺蘇生法などの技能を身に付けること。【知識及び技能】
- ・傷害の防止に関わる事象や情報から課題を発見し、自他の危険の予測を基に、危険を回避したり、傷害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うこと。【思考力、判断力、表現力等】
- ・傷害の防止について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすること。【学びに向かう力、人間性等】

## ICT活用のポイント

- ・「調べる、撮る、記録する、考えを深める、アウトプットする」といった主体的な学びにつなげるための道具として活用する。

交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因

交通事故による傷害の防止

自然災害による傷害の防止

応急手当の意義と実際

## 事例の概要

- 教科書のQRコードを読み取り、直接圧迫止血法、包帯法、心肺蘇生法（胸骨圧迫）の手本動画を視聴する。理解の程度に応じて再度確認したい部分を繰り返し視聴する。
- 学習支援ソフトを用いて、学習前に教師が学習シートを生徒に一斉送信し、学習後に生徒が完成した学習シートを提出する。
- ペアで動画撮影を行い、応急手当に関する知識及び技能の習得状況をお互いが確認し、伝え合う。
- 撮影した動画を全員で共有し、新たな課題の発見や課題の解決につなげる。

## 【ICT活用の場面①】



グループでの包帯法の実習

### 【学習過程と事例におけるICT活用の場面との関係】

- ・ICTを活用して知識を身に付け、実習を通して技能を育成することで、知識と技能を一体的に学ぶ。手本動画等を基に応急手当の方法を理解し、実習では包帯法や心肺蘇生法を互いに動画撮影して技能のポイントなどを伝え合うことで、知識の習得や課題の解決につなげていく。

## 【ICT活用の場面②】



実習後、動画を用いた振り返り

### 【生徒や教師にとってのICT活用のメリット】

- ・学習支援ソフトで学習シートを一斉配付することで、説明や話し合いを行う時間を増やすことができる。
- ・動画を自分のペースに合わせて確認したり、繰り返し視聴したりすることができる。
- ・動画を撮影し自分の実習を客観的に見ることで、成果や課題を発見し、知識及び技能の習得につながる。ペアで成果や課題を伝え合う場面を設定することで、思考力・判断力・表現力等の育成につながる。
- ・保存した動画や学習シートは、生徒の振り返りや学習評価に生かすことができる。また、動画を日常的に再確認して活用することができる。

### 【活用したソフトや機能】

動画再生機能    学習支援ソフト    動画撮影機能